

当社は2024年にスパークス・日本モノづくり未来ファンドからの資本参画を受け、株式の非公開化を行い、中長期的な企業価値の向上のための各種取り組みを推進しております。

その取り組みの1つとして、当社が50年後あるいは100年後も社会から必要とされる企業であり続けるために、長期的視点に立ち、グループを挙げてカーボンニュートラルを推進し、事業活動を通じたエネルギー使用量削減の活動を推進しております。

今般、既存事業領域で培った技術を活かし、今後の労働人口の減少を補うため需要拡大が見込まれる産業用ロボットに向けた鋳造部品の製造を拡大するため、既設の北上工場に環境配慮型の新たな工場を建設します。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

開始時期2025年6月、終了時期2028年5月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

北上工場の炭素生産性を29.4%向上することを目標とします。

3. 前向きな取組の内容

既存事業領域の強化および拡大を目的とし、今後の労働人口の減少を補うため需要拡大が見込まれる産業用ロボットに向けた鋳造部品の製造を行うため、既設の北上工場に環境配慮型の新たな工場を建設します。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<北上新工場および既設工場の全景>

